

# 令和7年度（第71回）福岡県小児保健研究会・母子保健関係者研修会

- ◆ 日 時： 令和7年12月6日（土）15:00～16:30（受付14:30）
- ◆ 会 場： 久留米大学旭町キャンパス 筑水会館 中会議室
- ◆ 対 象： 小児科医、看護師、養護教諭、学校教諭、幼稚園教諭、保育士など小児保健に携わる関係者、保護者及び一般市民
- ◆ 参加費： 1,000円

## <プログラム>

15:00 開会あいさつ 福岡県北筑後保健福祉環境事務所 保健監 高田 淳子

15:10 講 演

演 題 「発達グレイゾーンの子どもたちの問題点と支援」

講 師 柳川療育センター 施設長 山下 裕史朗 氏

座 長 久留米大学医学部小児科学教室 教授 水落 建輝



### 【講師プロフィール】

久留米大学卒、久留米大学大学院修了、医学博士  
米国ベイラー医科大学小児神経部門留学（1990-93）  
国際医療福祉大学医学部小児科学教授・神経発達症研究センター長（2024～）  
久留米大学名誉教授、客員教授（高次脳疾患研究所）  
前久留米大学医学部小児科学講座主任教授  
日本専門医機構認定小児科専門医、日本小児神経学会認定小児神経専門医、日本小児精神神経学会認定医  
2004年日本小児科学会海外研修フェロシップ受賞  
ベストドクターズ選出（2022-2025）  
理事：NPO法人にじいろCAP、NPO法人くるめSTP

【講演内容】 神経発達症（発達障害）の診断基準を満たす子どもたちと定型発達の子どもの間にはグレイゾーンの子どもたちが相当数いる。診断名がつく子どもたちは、医学的・教育的支援を受けやすいが、グレイゾーンの子どもたちは理解も支援もなく、学年があがると不適応を起こしやすい。グレイゾーンの自閉スペクトラム症や境界知能の子どもたちの問題点と支援について考えてみたい。

16:30 閉会あいさつ 久留米市 子ども未来部 部長 馬場 真澄

主 催 福岡県小児保健研究会、福岡県北筑後保健福祉環境事務所、久留米市  
後 援 福岡県医師会、久留米医師会、朝倉医師会、小郡三井医師会、浮羽医師会、大川三潞医師会、福岡地区小児科医会、筑後小児科医会、久留米小児科医会、福岡県教育委員会、公益社団法人 日本小児保健協会、久留米市教育委員会、西日本新聞社

【問合せ】 福岡県小児保健研究会事務局（久留米大学小児科内 医局秘書 藤）  
TEL（直通）0942-31-7565

【申込み】 右記QRコードから参加フォームを入力（締切り 11/28(金)）  
もしくは [syounihoken-group@kurume-u.ac.jp](mailto:syounihoken-group@kurume-u.ac.jp) へ以下の内容を明記してお送りください

名前/性別/メールアドレス/所属/職種

\*お車でご来場の場合は久留米大学病院駐車場をご利用ください。

